

津波避難計画の改訂

事業概要

東日本大震災の発生を踏まえた八戸市津波避難計画(市民の迅速かつ円滑な避難に必要な避難対象地域、避難場所及び避難路の指定、避難指示の発令等について定めた計画)の改訂 **H27年2月改定**

【改訂の柱】

2つのレベルの津波を想定し、それぞれに応じた対策を新たに規定

○L1津波の対策

⇒ 発生頻度が高く大きな被害をもたらす津波

人命保護に加え、住民財産の保護、地域経済活動の安定化、効率的な生産拠点の確保の観点から海岸保全施設等を整備

○L2津波の対策

⇒ 発生頻度は極めて低いが大規模な被害をもたらす**最大クラスの津波**

住民等の生命を守ることを最優先とし、住民の避難を軸にとりうる手段を尽くした総合的な津波対策を確立

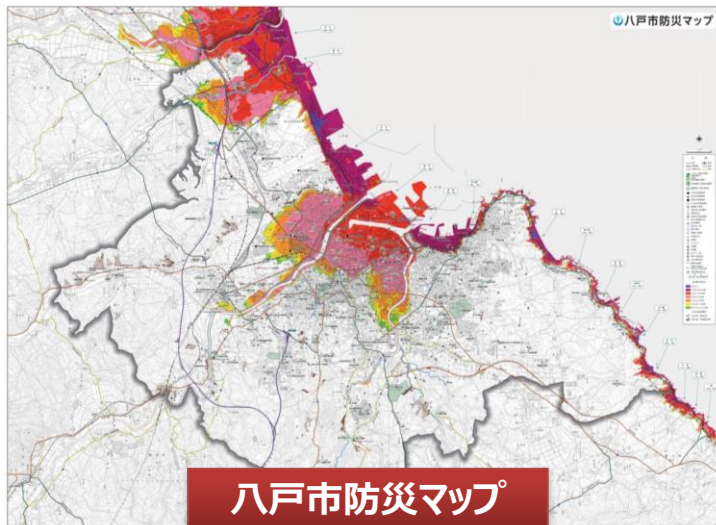


津波ハザードマップ等の作成・配布

事業概要

最大クラスの津波浸水想定を基にした防災マップ、津波避難ハンドブック等の作成・配布







種類	内容	配布先(部数)	
八戸市防災マップ (H25.3配布)	浸水想定区域、土砂災害警戒区域、避難所の位置など	市内小中学校等	1,025 部
津波避難ハンドブック (H25.3配布)	浸水想定区域、津波に対する心得、災害情報の入手方法など	市内全戸・全事業所	107,464 部
津波避難計画図 (H27.3配布)	浸水想定区域、避難経路、一時避難場所など	大津波警報発表時の避難対象地域内全戸	



津波等を想定した防災訓練の実施

事業概要

行政機関や地域住民等が主体となって災害時における行動や避難所運営体制などを確認し、防災力の向上を図るための防災訓練の実施

種類	内容	訓練の様子
総合防災訓練	市や消防本部、ライフライン関係事業者等が共催で実施する総合的な防災訓練	 
図上訓練	地図等を用いて、ゲーム感覚で防災対策を検討する訓練 ・市と関係機関による災害対策本部運営訓練 ・市や指定避難所、自主防災会による避難所運営訓練	 
地区防災訓練	町内会や自主防災会等の地域住民が主体で行う避難訓練や初期消火訓練、炊き出し等の訓練 (R2年度は市内全域で計34回実施)	 

小中野公民館の改築

事業概要

小中野公民館及び小中野コミュニティセンターを、従前の社会教育施設としての機能に加え、地震災害等発生時の避難所機能及び最大クラスの津波発生時の津波避難ビル機能を有する防災拠点施設として改築整備

➤ 施設概要（平成26年6月供用開始）

- ①建設場所 : 八戸市小中野五丁目2-17 (敷地面積2,145.95 m²)
- ②想定収容者数 : 1,100人
- ③構造 : 鉄筋コンクリート造3階建て（一部PH階）
- ④避難階(3階)床面高さ : 9.95 m (浸水深約5.0 m)
- ⑤延床面積 : 1,970.90 m² (避難スペース1,100 m²、その他会議室、備蓄室等)



階	施設機能
屋上	発電機室
3階	大ホール、用具庫、備蓄室、トイレ
2階	事務室、会議室、小ホール、調理室、和室、多目的トイレ
1階	風除室、玄関ホール、避難階段、駐車場(32台)

多賀地区津波避難タワーの整備

事業概要

多賀地区五戸川南側において、最大クラスの津波発生時に避難困難者を緊急・一時的に避難させる施設として整備

➤ 施設概要（平成27年9月完成）

- ① 建設場所 : 市川町字上大谷地45-3地内(敷地面積2,016.02㎡)
- ② 想定収容者数 : 80人
- ③ 構造 : 鉄骨造(緩衝材設置/避難スペースは冬期避難を考慮し居室タイプ)
- ④ 避難階(2階)床面高さ : 13.02m (浸水深9.02m+余裕高4.0m)
- ⑤ 2階床面積 : 175.84㎡ (居室80㎡、その他備蓄庫・トイレ・廊下等)



八戸市津波防災センターの整備

事業概要

沼館地区の一部において、最大クラスの津波発生時に避難困難者を緊急・一時的に避難させる施設として整備（平常時は防災に係る研修等に使用）

➤ 施設概要（平成29年5月供用開始）

- ① 建設場所 : 沼館四丁目6-19（敷地面積3,265.14㎡）
- ② 想定収容者数 : 877人
- ③ 構造 : 鉄筋コンクリート造3階建て
- ④ 避難階(2階)床面高さ : 10.96m（浸水深6.96m+余裕高4.0m）
- ⑤ 延床面積 : 約1,500㎡（避難スペース877㎡、その他調理室、備蓄庫等）



災害用備蓄物資の充実

事業概要

- ・津波指定避難所への食料や毛布などの生活必需品等の配備
- ・救援物資の備蓄品目・備蓄数の充実

◎物資備蓄状況

津波災害時に孤立する可能性のある津波避難ビルへの備蓄を優先的に実施

備蓄品目	数量
非常食	約 22,650食
飲料水	約 17,160本
毛布	約 14,246枚

(R3.3月末現在)



◎防災倉庫の整備

物資保管場所として防災倉庫を整備

- ・東日本大震災後に新設した防災倉庫

施設名	場所	完成
東部防災倉庫	湊高台四丁目14-14	H26.3
西部防災倉庫	尻内町字毛合清水8-9	H26.3



東部防災倉庫

災害協定の締結

震災前
31協定

3.11
震災発生

震災後失効
6協定

震災後締結
42協定

現在
67協定

◆東日本大震災後に締結した協定（1/2）

（R3.3月末現在）

協定名		締結先	協定名		締結先
1	石油基地自治体協議会加盟団体災害時相互応援協定	協議会加盟56市町	12	災害時における液化石油ガス及び応急対策用資機材の供給に関する協定	青森県エルピーガス協会
2	石油燃料優先供給に関する協定	青森県石油商業組合八戸支部	13	災害時における物資輸送及び物資拠点の運営等に関する協定	青森県トラック協会三八支部
3	災害ごみの収集運搬に関する協定	八戸市一般廃棄物処理業者連絡協議会	14	災害時における飲料の供給に関する協定	みちのくコカ・コーラボトリング(株)
4	福祉避難所の確保に関する協定	社会福祉事業者57団体	15	災害時の伝送装置の設置協力に関する協定	(株)青森テレビ
5	災害情報等の放送に関する協定	(株)ビーエフエム	16	災害時における災害情報等の放送に関する協定	(株)八戸テレビ放送
6	要援護者の支援に関する協定	市社会福祉協議会、各地区自主防災会	17	災害時における復旧活動の協力に関する協定	八戸ガス(株)
7	通信設備復旧等の協力に関する協定	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ東北支社八戸支店	18	災害時における捜索犬の出動に関する協定	NPO法人北東北捜索犬チーム
8	特設公衆電話の設置・利用に関する覚書	東日本電信電話(株)青森支店	19	災害時における支援協力に関する協定	みなと興業(株)
9	物資(段ボールベッド等)供給に関する協定	東北カートン(株)	20	災害発生時の施設の使用に関する協定	学校法人光星学院
10	警察署使用不能時における施設使用に関する協定	青森県八戸警察署	21	無人航空機等による災害情報の収集協力に関する協定	青森県南UAVネットワーク
11	災害に係る情報発信等に関する協定	ヤフー(株)	22	災害時における被災者支援のための業務に関する協定	青森県行政書士会八戸支部ほか3団体

災害協定の締結

震災前
31協定

3.11
震災発生

震災後失効
6協定

震災後締結
42協定

現在
67協定

◆東日本大震災後に締結した協定（2/2）

（R3.3月末現在）

協定名		締結先	協定名		締結先
23	隊員家族あんしん協定	海上自衛隊第2航空群	34	災害時における復旧支援協力に関する協定	日本下水道管路管理業協会
24	災害時における地図製品等の供給等に関する協定	(株)ゼンリン	35	災害時の医療救護に関する協定	一般社団法人八戸市医師会
25	中核市災害相互応援協定	全中核市	36	隊員家族あんしん協定	陸上自衛隊八戸駐屯地
26	災害時における支援協力に関する協定	協同組合八食センター	37	災害復旧時の協力に関する協定	東日本電信電話(株)青森支店
27	災害時における緊急消防援助隊の活動に必要な拠点の確保に関する協定	八戸地域広域市町村圏事務組合	38	災害時における仮設鋼材の供給に関する協定	ヒロセホールディングス(株)
28	全国公設地方卸売市場協会災害時相互応援に関する協定	全国公設地方卸売市場協議会加盟都市	39	災害時における支援に関する協定	八戸市測量設計協会
29	防災啓発情報等に関する協定	NTTタウンページ(株)	40	大規模災害時における広域防災拠点の確保及び使用に関する協定	青森県
30	災害発生時の施設の使用に関する協定	八戸聖ウルスラ学院中学・高等学校	41	地域防災パートナーシップ協定	青森放送株式会社
31	災害時における物資供給に関する協定	ミドリ安全青森(株)	42	大規模災害時における緊急避難場所等に関する協定	海上自衛隊八戸駐屯地 陸上自衛隊第2航空群
32	災害時無線アクセス回線の利用に関する協定	(株)八戸テレビ放送			
33	災害発生時における青森県市町村相互応援に関する協定	青森県及び県内全市町村			

指定避難所の耐震化

事業概要

耐震基準を満たしていない指定避難所(地区公民館)4施設の改築

施設名	住所	収容可能人員	供用開始
江陽公民館	江陽二丁目18-34	158 人	H28.9
館公民館	大字八幡字下陳屋 40-1	135 人	H28.9
根城公民館	根城三丁目11-22	183 人	H29.4
是川公民館	大字是川字東前田 3-11	175 人	H30.4



福祉避難所の指定・整備

事業概要

災害時要援護者等の避難受入場所となる福祉避難所の指定・整備

➤ 施設概要

- ①受入対象 : 一般の指定避難所での生活が困難と思われる高齢者、障がい者、妊産婦・乳幼児等の要配慮者
- ②特別な配慮 : バリアフリー化のほか、専門的な知識を有する生活相談職員を配置
- ③種類 : 市の施設を指定した「市福祉避難所」及び、協定を締結した民間の社会福祉施設などを指定した「施設福祉避難所」の2種類
※このほか、連携中枢都市圏を構成する8市町村において福祉避難所の相互利用を可能とする協定を締結

	市福祉避難所	施設福祉避難所
受入対象	見守りにより生活できる要配慮者	常時介護・支援が必要な要配慮者
運営者	市	社会福祉法人等の事業者
指定状況 (R3.3月末)	4施設	73施設 (50事業者)



津波避難誘導標識等の設置

事業概要

津波災害発生時の地域住民及び来訪者の迅速かつ適切な避難行動に資する各種標識の設置

➤ 標識の種類

① 誘導標識



214箇所

浸水想定区域内の避難路上に、避難目標地点までの距離や方向等を表示

② 避難目標地点標識



77箇所

浸水想定区域の外にある避難目標地点に、避難所までの距離や方向等を表示

③ 避難場所経路案内板、ソーラー照明灯

避難場所経路案内板



26箇所

浸水想定区域の外にある避難路の合流地点などに、避難所までの経路がわかる地図標識を設置（あわせてソーラー照明灯を設置）

ソーラー照明灯



安全・安心情報発信事業

事業概要

災害や犯罪に強い安全な地域づくりに向けた緊急情報や気象、火災、防犯、交通安全、消費生活等に関する地域の安全・安心情報に係るメール配信サービスの実施

八戸市安全・安心情報メール配信サービス（愛称：ほっとスルメール）

実施状況

- ・H20.2 安全・安心情報の配信開始
- ・H25.3 外国人向けほっとスルメールの稼働、エリアメールとの連携
- ・H26.2 スマートフォン向けアプリの運用開始、全国瞬時警報システム(J-ALERT)の情報を自動配信

ほっとスルメール

新着情報

八戸	12/16 03:05 地震情報
八戸	12/01 05:00 火災情報
八戸	11/17 16:57 民事訴訟管理センターを名乗...
八戸	11/15 14:45 クマの目撃情報
八戸	11/15 13:12 クマの出没情報
八戸	11/15 08:19 クマの目撃情報

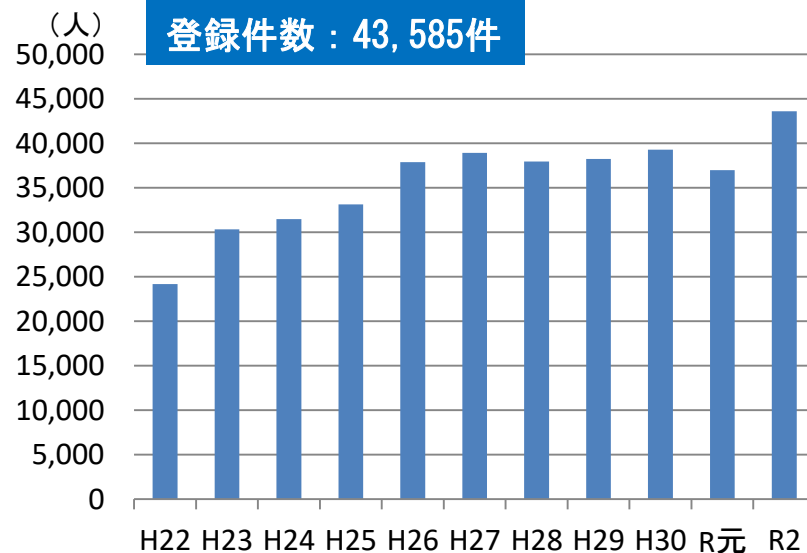
過去の配信情報

配信設定

【配信情報】

- ① 緊急情報
- ② 地震情報
- ③ 気象情報
- ④ 火災情報
- ⑤ 防犯情報
- ⑥ 交通安全情報
- ⑦ 消費生活情報
- ⑧ 保健所情報
- ⑨ ライフライン情報
- ⑩ メールマガジン
- ⑪ クマ・サル等出没情報
- ⑫ 市道等通行止め情報

メール登録件数(各年度末)



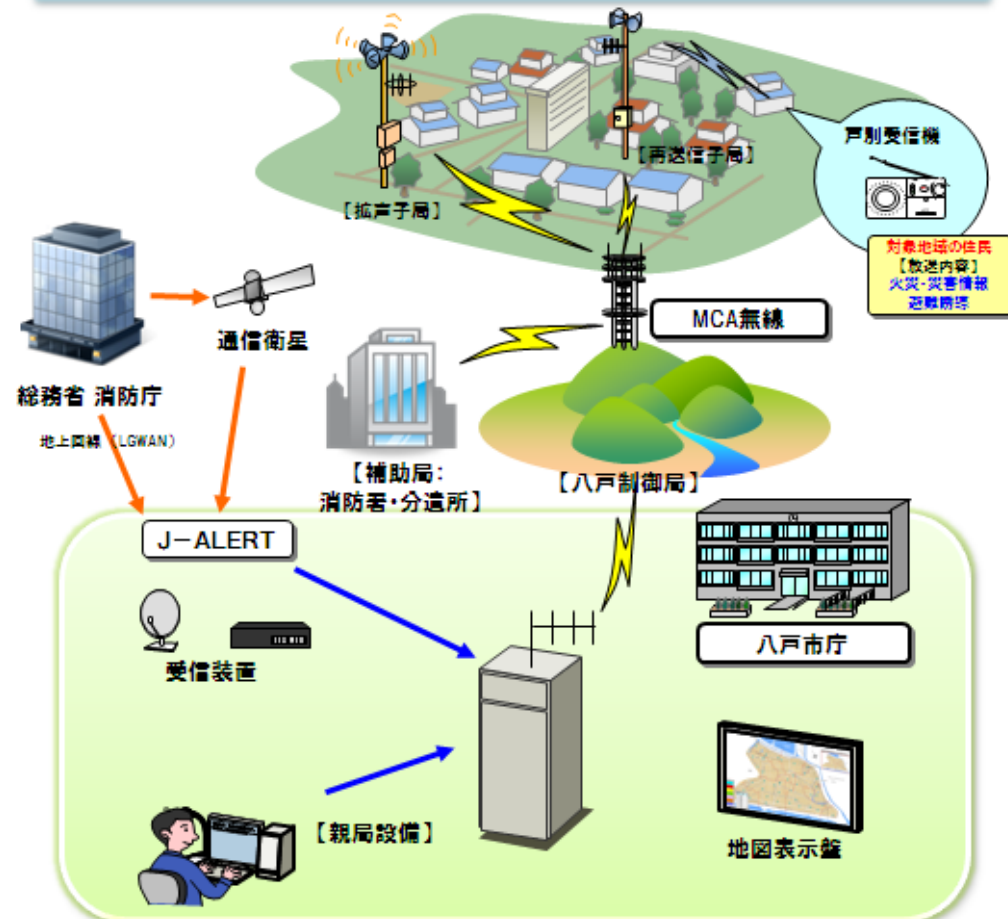
【参考】アプリダウンロード件数：23,877件(R3.3.31現在)

防災行政無線の整備

事業概要

災害時緊急情報等の迅速かつ円滑な伝達のための防災行政無線屋外拡声子局（スピーカー）の設置（主に河岸や沿岸、山間部の難聴地域へ設置）

八戸市におけるシステム構成 ～運用イメージ～



◎屋外拡声子局数

震災前	増設数	現在
102 基	41 基	143 基

◎防災行政無線の機能

①J-ALERTとの連動機能

J-ALERT(全国瞬時警報システム)から情報を受信すると、防災行政無線が自動的に起動し、子局から拡声通報する機能

②電話応答機能

親局、補助局からの最新10回分の放送内容を自動で録音し、電話による問い合わせに対し自動で応答、内容の放送を行う機能

震災記憶の伝承・風化防止

事業概要

- ・記録誌「東日本大震災 八戸市の記録」の発行【H24年度】
- ・青森震災アーカイブの運用【H26年度～】
- ・小中学生向け 防災教育副読本「防災ノート」の配付【H27年度～】
- ・復興状況市民見学会の開催【H28年度～R2年度】

青森震災アーカイブHP

東日本大震災を風化させず、教訓を次の世代へ伝える為に

東日本大震災では多くの命が奪われ、私たちの地域でも甚大な被害を受けました。
東日本大震災を風化させず、命、防災の大切さを次の世代に伝え、
少しでも次の災害の被害を少なくする為に、アーカイブを立ち上げました。



復興状況市民見学会



東日本大震災 八戸市の記録



防災ノート



みなと体験学習館の整備

整備目的

- ・湊地域の歴史・文化と東日本大震災の津波被害を伝える学習の場
- ・災害時の防災機能を備えた施設として整備

◆施設の概要（令和元年7月6日供用開始）

八戸市みなと体験学習館（愛称：みなっ知）

- ・場 所：八戸市大字湊町字館鼻67-7
- ・構 造：鉄筋コンクリート造2階建て
- ・延床面積：840m²



フロア

施設の機能

1階

防災学習展示、多目的室、
防災備蓄倉庫

2階

湊地域の歴史・文化学習展示、
観光展示、軽飲食スペース、
ベビー休憩室

屋上

オープンテラス



震災伝承施設に登録

（東日本大震災から得られた実情と教訓を伝承する施設）